

疫学研究のお知らせ

当科では下記の研究を行っております。

研究課題名：頭蓋内腫瘍に対する定位放射線治療成績の遡及的解析

研究の目的：頭蓋内腫瘍に対する定位放射線治療は保険診療として広く行われるようになっていきます。昨今ではさらに、患者さんをより非侵襲的に、かつ、高い位置精度を保って照射を行う技術が発展したことや、機器の発展に伴い、より腫瘍の形状に沿って照射をすることが可能となりました。従来は困難であった定位照射の位置精度で何回かに分けて分割することや、少し複雑な形状を持つ腫瘍に対しても応用が可能となってきています。本研究ではこれまで当院で行ってきた頭蓋内腫瘍に対する定位放射線治療の成績を包括的に、遡及的解析を行うことを目的とし、常に将来のよりよい治療へとつなげることを目的としています。

研究の方法：1985年1月から2014年6月までに当院で頭蓋内腫瘍に対して定位放射線治療が行われた患者さんを対象とします。カルテや画像、放射線治療計画の記録などを見直し、病巣自体のコントロール状況や患者さんの予後との関係について遡及的に調べます。基本的にすべて既存の記録・データベースを用いますので、新たに患者さんにご負担をいただく予定はございません。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

研究成果発表：学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

問い合わせ先：本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

研究事務局

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

溝脇 尚志

電話：075-751-3762、FAX：075-771-9749